

# 鈴木美美子プロフィール

## &エピソード

3歳から母の同級生にピアノの手ほどきを受ける。小2から住友弘一先生に教わる。情熱にあふれ手を振り歌うレッスンで、音楽に乗る感覚はここで得たと思う。市内の上手な子が集まっていて、毎年コンクールの課題曲を聴きあうのが勉強になった。全四国音楽コンクールで小6、中3、高2、高3と県代表(2人枠)になり、四国で4位、3位、2位、1位になる。父の趣味でステレオから毎日ベートーベンの交響曲が鳴り響いていた。弾いている曲のレコードも毎日聴いていた。聴いて、音楽を感じるだけでよかった頃。

尚美ディプロマコース修了直前に、クラスメイトの紹介で、「心の耳で聴く」ツィングラー奏法に出会い少しずつ復活。これまでのピアノ教育の常識がひっくり返り、この奏法を広めたいと夢を抱く。

門下の先輩も同級生もみんな音大に行くと言うので、高3になってようやく音大受験を決意。徳島まで芸大卒の先生のレッスンに毎月通う。とはいっても毎日練習は2時間どまり。東京の先生には3回みもらっただけ。聴音は小4からやっていた得意だった。

1961年	高知県高知市生まれ 坂本竜馬のご近所
3歳	ピアノをはじめ
1980年	武蔵野音大ピアノ専攻入学
1983年	福井直秋記念奨学生
1984年	武蔵野音楽大学卒業 卒業演奏会に出演
1985年	東京コンセルヴァトワール尚美ディプロマコース奨学生入学
1987年	東京コンセルヴァトワール尚美ディプロマコース修了 「コンチェルトの夕べ」など多数のコンサートに出演
1991年	結婚後すぐ夫がシンガポール赴任
1993年	シンガポール日本人会に音楽同好会設立
1995年	赤ちゃんとママのコンサート主催グループ「ぷるちーの」発足
1998年	帰国
2001年	お母さんのための音楽企画 HappyMusic 発足
2003年	自由が丘で月例音楽サロンを始める
2004年	駒込フレール館で小さき太陽の会を始める
2006年	HappyMotherMusic と改称
〃	港北区ふるさとサポート事業認定(～08年)
2007年	起業家たまご塾第一期生
2008年	かながわ子ども・子育て奨励賞受賞
2009年	横浜チャレンジコミュニティビジネス認定により音伽舎開設

その頃、石川雅子ミュージックアカデミー講師となる。ウィーンで8年間音楽教育を学んだ石川雅子先生とは、ヨーロッパと日本のピアノ教育のギャップを何とかしたいという思いで意気投合、理想の音楽教室を創ろうと燃える。

尚美ディプロマコースへ進学。カールスルーエ音大のヨゼフ・シェラー氏に師事。ドイツ人気質で音楽の文法に厳密なレッスンで、頭で理解はできたが、感覚で弾いていた私には辛すぎて、ピアノが弾けなくなってしまう。手がかりを求めて、ピアノ演奏法と心理学関係の本を読み漁った。

武蔵野音大で師事した本多万里子先生は「あなたは何にも知らないけど、いいものを持ってるわよ」と、上手に伸ばして下さる。理屈はわからず感覚のみで弾いていた。3年生で奨学生オーディション合格。4年生ではワルシャワ音大のショパン研究家リディア・コズベック氏に師事。フレーズの歌い方のツボを身につける。卒業演奏会にも選ばれ演奏、卒業した。

大学院を受験するが失敗。郷里に帰ることになっていたが、入試の直前に、岡田知子先生のレッスンを受け、感動。音楽にはまだまだ知らない素晴らしい世界があると、親の反対を押し切って、東京に残ると決意。

1991年、結婚、出産、赴任...と激動の一年間をおくる。心の準備もないままに、海外で慣れない家事と育児。仕事も辞めてこの先どうやっていくのかという不安...。出て行くところもない密室育児はほんとうに辛かった。

音大卒業の駐在員主婦5人でシンガポール日本人会に音楽同好会を結成！ 一気に充実した生活に。5年間で100回以上のコンサートを開催。クラシックのコンサートに行かなくても、身近に音楽が聴けるとうれしい、楽しい演出があると聴きやすい、というニーズがあることを知る。ローカルの幼稚園や、小・中・高校にも学校訪問コンサートをする。障害児施設やホスピスでもコンサート多数。言葉が通じなくても音楽で心が通じる体験ができた。

二代目会長になり、音楽同好会で企画した「赤ちゃん和妈妈の音楽サロン」に申し込み殺到。当時、駐在日本人主婦の出産は年間200人といわれており、「こんな企画を待っていた」「次はいつですか？」との声が相次ぐ。日本人向けコミュニティ誌で呼びかけたら会場提供者、演奏希望、スタッフ希望など、40本の電話がかかってきた。看護婦、薬剤師など元医療関係者と先輩お母さんをスタッフに加え、音楽同好会有志が企画し、「ぷるちーの」の名で別グループを発足。1995年から隔月で赤ちゃん和妈妈対象のコンサートを開く。今でこそ0歳から聴くコンサートは広まりつつあるが、オープンで定期的なものとしてはこれが初めてのケースではないか？ と思っている。（ほかにご存知の方教えて下さい）

3年目に、靴を脱いで床に座ってピアノがある貸会場が自由が丘にみつけて、念願の「赤ちゃん和妈妈の音楽サロン」を月例でスタート。金澤直子先生が司会、うたを担当して下さった。HappyMusic発足当時から協力して下さった金澤先生と、まだ、自由が丘にエレベーターもない頃に、先生のファンで遠くから集まってくれたお母さんと子どもたちに感謝

日本人会会報にお知らせを載せていけば100人集まっていたシンガポール時代とは違って、集客に苦労しながら細々と開催を続ける。

帰国後、「あんなに喜ばれたクラシックの裾野を広げるコンサートを、日本でも公演したい、ボランティアではなく仕事にしたい。」と考える。情報を求めてセミナーなどに参加していた中で、ベビースイミングの草分けの指導者、金澤直子さんと出会う。「いい子育てには、まず、お母さんをHappyにすることよ」との言葉に共感。密室育児の経験を踏まえ、「お母さんのための音楽企画 HappyMusic」として2001年活動開始。

HappyMotherMusicに改称。Webの普及でようやく対象のお母さんに情報が届き定期公演が可能になり、横浜市内外に開催地が広がってきた。HappyMotherMusicのNPO法人化を目指し受講した起業家たまご塾を経て、独自メソッドを持つ音楽響室へ方向転換。音伽舎OPENの運び。

駒込フレーベル館でも赤ちゃんとお母さんのためのサロンを月例で開催。二代目お話の先生大河内恵津子さんによって、音楽とお話が子どもたちに素晴らしい影響を与えていることを指摘される。その後、大河内先生と二人三脚で、乳幼児対象のカリキュラムを開発してきた。乳幼児精神保健学会員となり乳幼児の心身の発達から裏づけながら楽しく無理なく子どもが育つ音楽教育の音伽メソッドとしてまとめてきた。